

ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画等策定基礎調査報告

# 市民意識調査報告書 I

## まちづくりに関する市民意識調査編

令和2年 1月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

# 目次

<u>I 調査概要</u> .....	1
<u>II 調査結果概要</u> .....	2
<u>1. まちづくりに関する市民意識調査 結果概要</u> .....	2
(1) 回答者について.....	2
(2) 住み心地・暮らしの満足度について.....	2
(3) 地域活動・住民参加について.....	2
(4) ひたちなか市への誇りや愛着について.....	2
(5) 望まれる整備・施設について.....	3
(6) 災害への備えについて.....	3
(7) 市政運営について.....	3
(8) 全体を通して.....	3
<u>III 調査結果</u> .....	4
<u>1. まちづくりに関する市民意識調査 調査結果</u> .....	4
(1) 回答者について.....	4
(2) 住み心地・暮らしの満足度について.....	11
(3) 地域活動・住民参加について.....	18
(4) ひたちなか市への誇りや愛着について.....	22
(5) 望まれる整備・施設について.....	28
(6) 災害への備えについて.....	31
(7) 市政運営について.....	32

# I 調査概要

## 1. 調査の目的と趣旨

本調査は、市民の生活実態やまちづくりに関する意識について把握し、ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画の策定や、今後の施策推進の基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。

## 2. 調査の対象

令和元年8月1日時点で、ひたちなか市に居住する18歳以上の市民 3,000名

## 3. 調査方法

配布・回収ともに、郵送により実施

## 4. 調査期間

令和元年9月17日 ～ 令和元年9月30日

## 5. 回収結果

回収数：1,448票

回収率：48.3%

## Ⅱ 調査結果概要

### 1. まちづくりに関する市民意識調査 結果概要

#### (1) 回答者について

---

- 回答者の性別は男性，女子ともに 5 割程度となっている。
- 回答者の年齢は「75 歳以上」が最も多く全体の約 2 割を占めており，「70～74 歳」，「45～49 歳」が共に約 1 割で続いている。
- 回答者の約 3 割が「正規の職員・従業員」であり，業種としては「製造業」が最も多く 2 割程度となっている。
- ひたちなか市出身者は全体の 4 割を占めており，回答者の本市への居住歴では，約 6 割の方が「30 年以上」と回答している。

#### (2) 住み心地・暮らしの満足度について

---

- 回答者の約 2 割がひたちなか市の住み心地について，「とても住みやすい」と回答しており，8 割以上の方が「ずっと今の場所に住み続けたい」，または「できるだけ今の場所に住み続けたい」と回答している。
- 「消防・救急体制について」，「安全安心な水の安定供給について」，「ごみ処理対策やリサイクルの推進について」への市民の満足度が高く，「子育て支援について」，「防災対策（防災力の強化・防災基盤の整備）について」，「公共交通機関（バスや鉄道等）について」に対して優先して充実すべきとの意見が多い。

#### (3) 地域活動・住民参加について

---

- 社会活動への参加について，「積極的に参加している」と回答したのは約 1 割程度となっており，前回調査より減少している。
- 地域の市民が主体となって活動が行われていると感じる分野について，約 5 割の回答者が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており，「交通安全活動」が約 4 割，「防犯活動」が約 3 割で続いている。

#### (4) ひたちなか市への誇りや愛着について

---

- ひたちなか市への誇りや愛着について，「とても感じる」と回答した人は全体の 1 割程度となっている。
- ひたちなか市のまちの特性，特色として，「国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち」や，「自然環境を守り，自然とふれあえるまち」と考えている人が多い。
- 市への愛着を感じている人ほど，ひたちなか市のことを周囲にすすめる傾向が見られる。

## **(5) 望まれる整備・施設について**

---

- 今後必要だと思われる社会基盤として、約3割の方が「鉄道やバス路線などの公共交通網」と回答しており、「街路灯、防犯灯」が続いている。
- 一方で、回答者の年代によって必要な社会基盤の回答が異なっており、若い世代では「街路灯、防犯灯」や「道路の改良や舗装」、「鉄道やバス路線などの公共交通網」を求める意見が多い。

## **(6) 災害への備えについて**

---

- 回答者の約7割の方が「ラジオ・懐中電灯など防災用品の準備」、「食料や飲料水の備蓄」等の備えをしている。

## **(7) 市政運営について**

---

- 回答者の約7割が市政に関する情報を「市報「ひたちなか」」より得ている。一方で、若い世代では「SNS等」や「市のホームページ」の回答割合も高くなっている。
- 行政サービスと市民の負担とのバランスについて、「負担は多少増えてもサービス水準を維持すべき」と約4割の方が回答している。

## **(8) 全体を通して**

---

- ひたちなか市の住み心地や定住への意向については、前回調査と比べて増加している。市の住み心地は「40～44歳」で評価が高く、「55～59歳」で評価が低くなっている。
- 本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間の取組に対する「充実希望度」については、重点的に取り組む項目として、「河川、雨水幹線の整備」や「道路の整備」等のハード事業と「子育て支援」や「高齢者支援」等の取り組みが挙げられている。一方で「自治会等の地域コミュニティの推進」は充実希望度が最も低い結果となった。
- 市への誇りや愛着については、「40～44歳」で「とても感じる」の回答割合が最も大きく、住み心地への評価にも関連していると考えられる。また、ひたちなか市に関するNPSでも市への誇りや愛着を感じている人ほどスコアが高くなる関係にあった。
- 望まれる整備・施設については、「鉄道やバス路線などの公共交通網」との回答が最も多かった。
- 市政運営については、「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」との回答が最多となっており、サービス水準の維持へのニーズが高いことが分かる。

# Ⅲ 調査結果

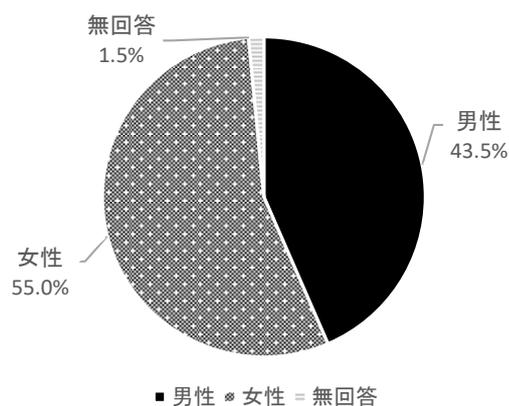
## 1. まちづくりに関する市民意識調査 調査結果

### (1) 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。[1つに〇]

- 回答者の性別は「男性」が43.5%、「女性」が55.0%となっている。

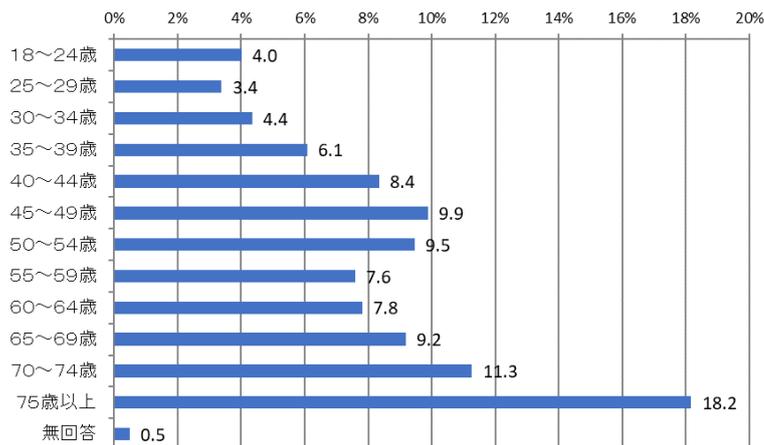
総数	1,448	100.0%
男性	630	43.5%
女性	796	55.0%
無回答	22	1.5%



問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。[1つに〇]

- 「75歳以上」が最も多く18.2%、「70～74歳」が11.3%、「45～49歳」が9.9%が続いている。

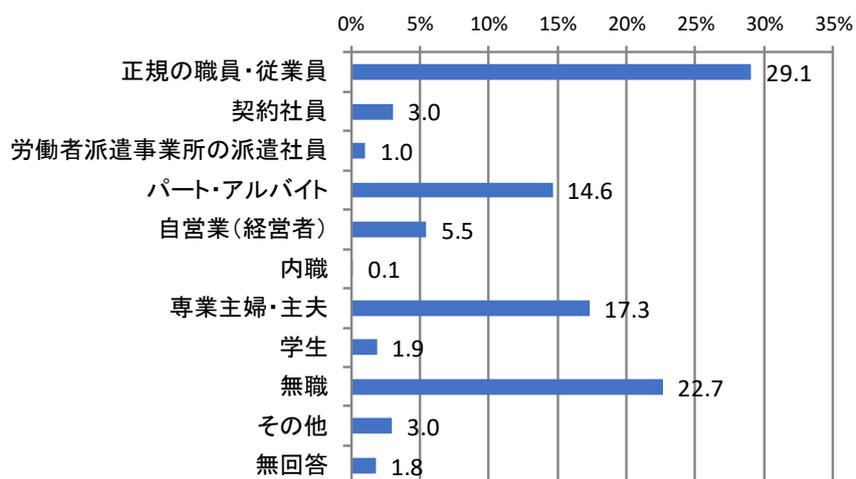
総数	1,448	100.0%
18～24歳	58	4.0%
25～29歳	49	3.4%
30～34歳	63	4.4%
35～39歳	88	6.1%
40～44歳	121	8.4%
45～49歳	143	9.9%
50～54歳	137	9.5%
55～59歳	110	7.6%
60～64歳	113	7.8%
65～69歳	133	9.2%
70～74歳	163	11.3%
75歳以上	263	18.2%
無回答	7	0.5%



**問3 (1) あなたのお仕事について、就業形態についてお答えください。[1つに〇]**

- 「正規の職員・従業員」が最も多く29.1%、「無職」が22.7%で次点となっている。
- 男女別の就業形態では、「男性」は「正規の職員・従業員」が44.0%で最多、「女性」は「専業主婦」が30.7%で最多となっている。
- 『その他』の回答では、「年金」、「嘱託職員」等の回答がみられた。

総数	1,448	100.0%
正規の職員・従業員	421	29.1%
無職	328	22.7%
専業主婦・主夫	251	17.3%
パート・アルバイト	212	14.6%
自営業(経営者)	79	5.5%
契約社員	44	3.0%
学生	27	1.9%
労働者派遣事業所の派遣社員	15	1.0%
内職	2	0.1%
その他	43	3.0%
無回答	26	1.8%



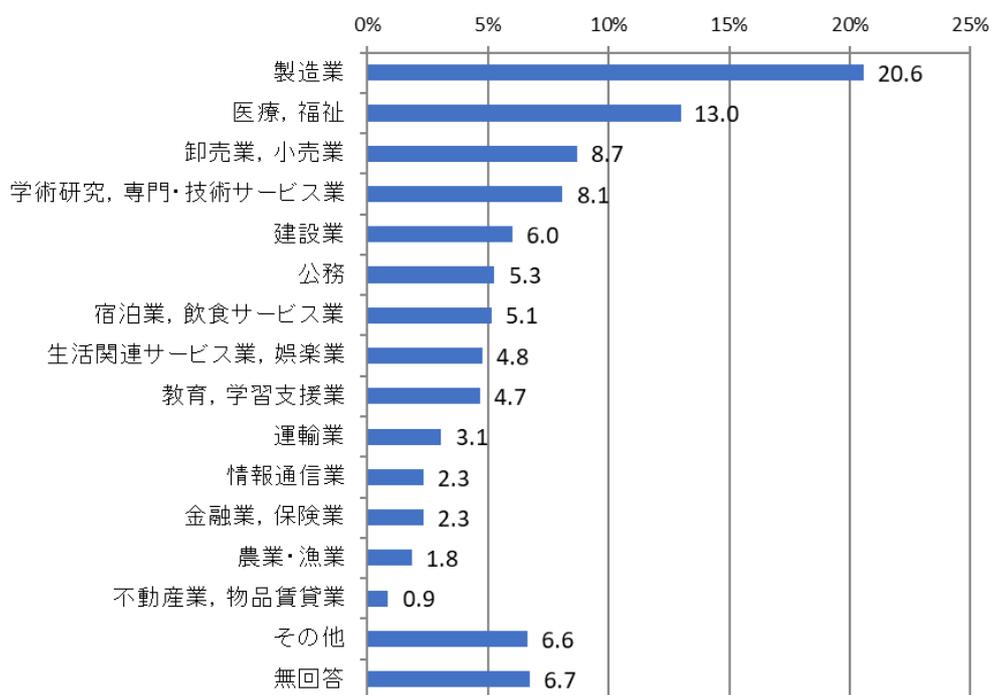
**【男女別の回答結果】**

%	正規の職員・従業員	契約社員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト	自営業(経営者)	内職	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
総数	29.1%	3.0%	1.0%	14.6%	5.5%	0.1%	17.3%	1.9%	22.7%	3.0%	1.8%
男性	44.0%	3.8%	1.0%	5.7%	8.6%	0.0%	0.6%	2.4%	29.8%	3.3%	0.8%
女性	17.7%	2.5%	1.1%	22.0%	3.0%	0.3%	30.7%	1.5%	17.1%	2.6%	1.5%

問3 (2) あなたのお仕事について、業種についてお答えください。[1つに○]

- 「製造業」が20.6%で最多、「医療、福祉」が13.0%で次点となっている。
- 『その他』の回答では、「警備員」、「団体職員」等の回答がみられる。

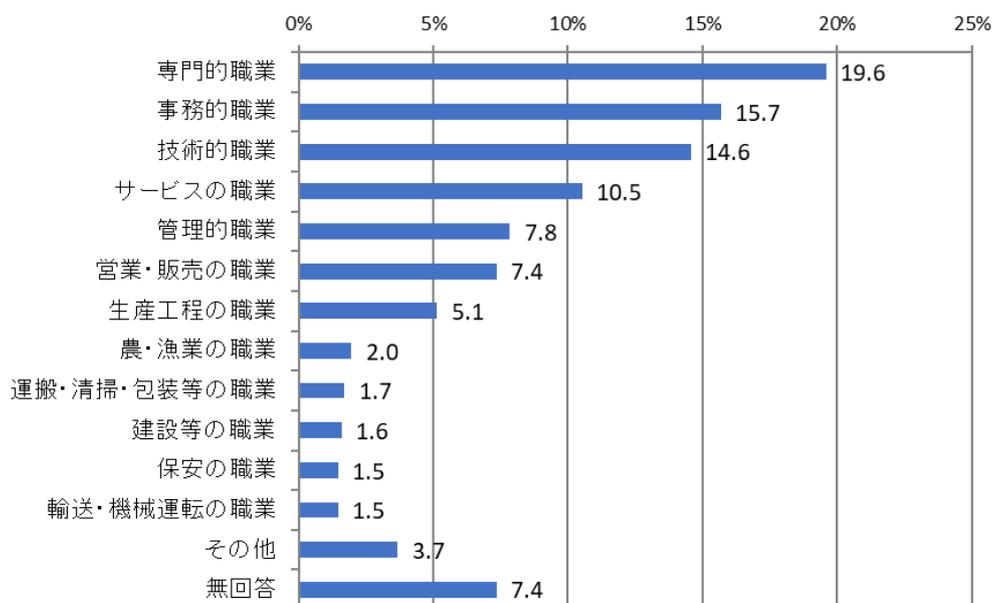
業種	総数	割合
製造業	168	20.6%
医療、福祉	106	13.0%
卸売業、小売業	71	8.7%
学術研究、専門・技術サービス業	66	8.1%
建設業	49	6.0%
公務	43	5.3%
宿泊業、飲食サービス業	42	5.1%
生活関連サービス業、娯楽業	39	4.8%
教育、学習支援業	38	4.7%
運輸業	25	3.1%
情報通信業	19	2.3%
金融業、保険業	19	2.3%
農業・漁業	15	1.8%
不動産業、物品賃貸業	7	0.9%
その他	54	6.6%
無回答	55	6.7%



**問3 (3) あなたのお仕事について、職種についてお答えください。[1つに〇]**

- 「専門的職業」が19.6%で最多、「事務的職業」が15.7%で次点となっている。
- 『その他』の回答では、「介護」、「教育関係」等の回答がみられた。

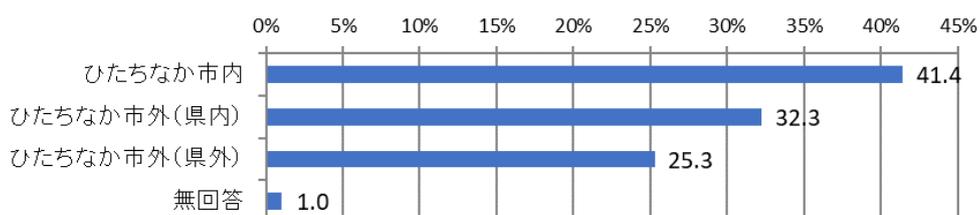
総数	816	100.0%
専門的職業	160	19.6%
事務的職業	128	15.7%
技術的職業	119	14.6%
サービスの職業	86	10.5%
管理的職業	64	7.8%
営業・販売の職業	60	7.4%
生産工程の職業	42	5.1%
農・漁業の職業	16	2.0%
運搬・清掃・包装等の職業	14	1.7%
建設等の職業	13	1.6%
保安の職業	12	1.5%
輸送・機械運転の職業	12	1.5%
その他	30	3.7%
無回答	60	7.4%



問4 あなたのご出身はどちらですか。[1つに〇]

- 「ひたちなか市内」が最も多く 41.4%、「ひたちなか市外（県内）」が 32.3%、「ひたちなか市外（県外）」が 25.3%となっている。

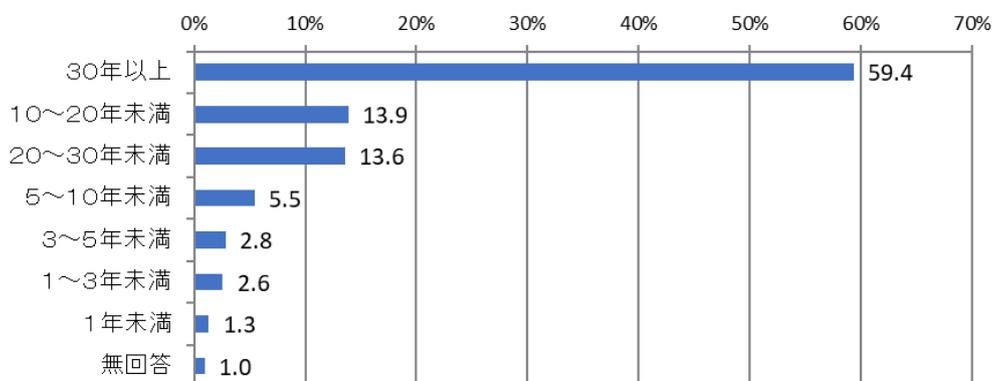
総数	1,448	100.0%
ひたちなか市内	600	41.4%
ひたちなか市外(県内)	467	32.3%
ひたちなか市外(県外)	366	25.3%
無回答	15	1.0%



問5 あなたは、ひたちなか市にお住まいになって何年になりますか。[1つに〇]

- 回答者の 59.4%がひたちなか市に「30年以上」住んでいると回答している。
- 「10～20年未満」が 13.9%、「20～30年未満」が 13.6%で続いている。

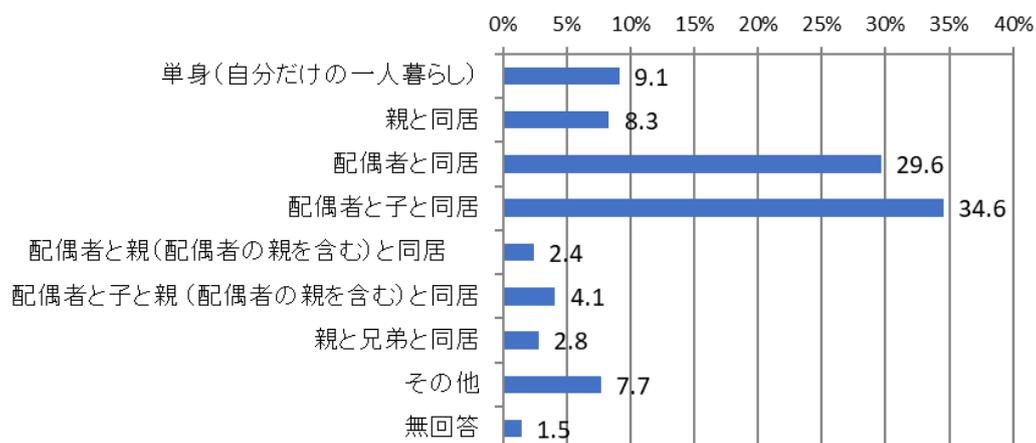
総数	1,448	100.0%
1年未満	19	1.3%
1～3年未満	37	2.6%
3～5年未満	41	2.8%
5～10年未満	79	5.5%
10～20年未満	201	13.9%
20～30年未満	197	13.6%
30年以上	860	59.4%
無回答	14	1.0%



**問6 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つに〇]**

- 同居家族の構成では、「配偶者と子と同居」が34.6%で最も多く、「配偶者と同居」が29.6%、「单身（自分だけの一人暮らし）」が9.1%が続いている。
- 『その他』の回答では、「子と同居」、「配偶者と子と孫」等が挙がっている。

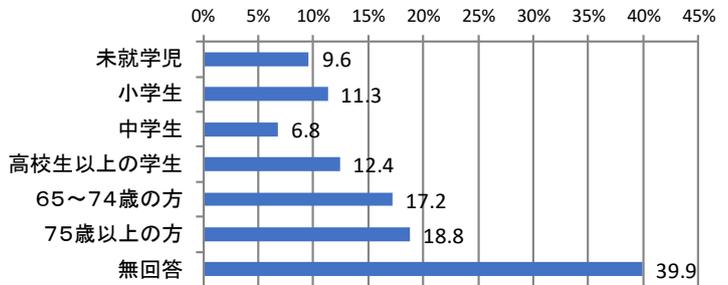
同居家族の構成	人数	割合
総数	1,448	100.0%
单身(自分だけの一人暮らし)	132	9.1%
親と同居	120	8.3%
配偶者と同居	429	29.6%
配偶者と子と同居	501	34.6%
配偶者と親(配偶者の親を含む)と同居	35	2.4%
配偶者と子と親(配偶者の親を含む)と同居	59	4.1%
親と兄弟と同居	40	2.8%
その他	111	7.7%
無回答	21	1.5%



**問7 同居家族に次の方はいますか。[該当するものすべてに○をつけてください]**

- 全体の18.8%が「75歳以上の方」と同居している。また、「65～74歳の方」も17.2%で続いている。
- 「高校生以上の学生」が12.4%、「小学生」は11.3%、「未就学児」は9.6%となっている。

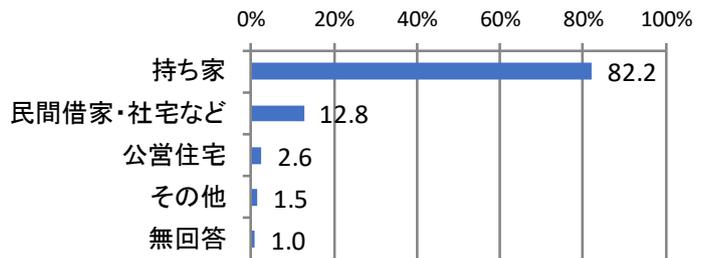
総数	1,448	100.0%
未就学児	139	9.6%
小学生	164	11.3%
中学生	98	6.8%
高校生以上の学生	180	12.4%
65～74歳の方	249	17.2%
75歳以上の方	272	18.8%
無回答	578	39.9%



**問8 あなたがお住まいの住宅はどれにあたりますか。[1つに○]**

- 「持ち家」が82.2%で最も多く、「民間借家・社宅など」が12.8%で次点となっている。
- 『その他』の回答では、「親の持ち家」等の回答がみられる。

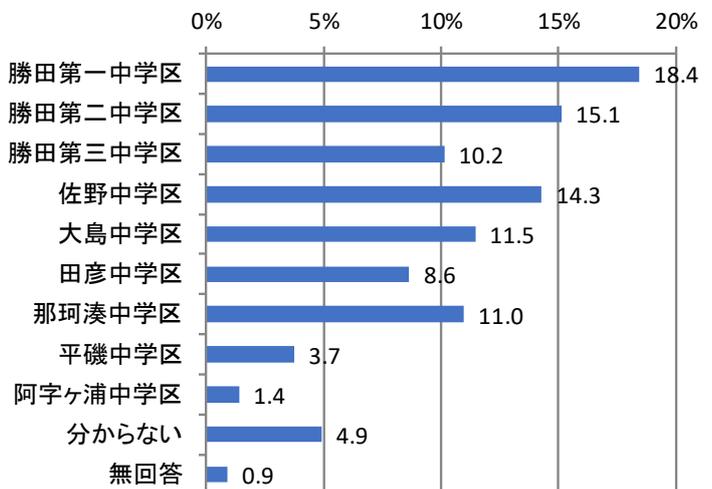
総数	1,448	100.0%
持ち家	1,190	82.2%
民間借家・社宅など	185	12.8%
公営住宅	37	2.6%
その他	22	1.5%
無回答	14	1.0%



**問9 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに○]**

- 「勝田第一中学区」が18.4%で最も多く、「勝田第二中学区」が15.1%で続いている。

総数	1,448	100.0%
勝田第一中学区	267	18.4%
勝田第二中学区	219	15.1%
勝田第三中学区	147	10.2%
佐野中学区	207	14.3%
大島中学区	166	11.5%
田彦中学区	125	8.6%
那珂湊中学区	159	11.0%
平磯中学区	54	3.7%
阿字ヶ浦中学区	20	1.4%
分からない	71	4.9%
無回答	13	0.9%

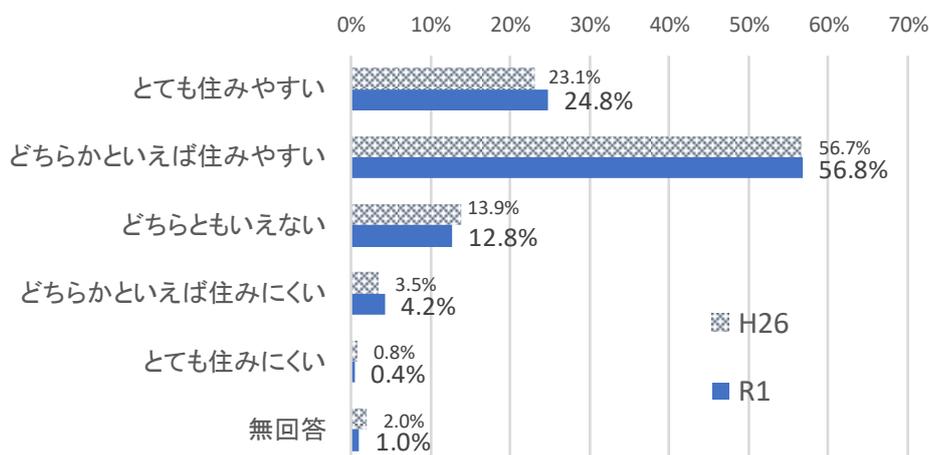


## (2) 住み心地・暮らしの満足度について

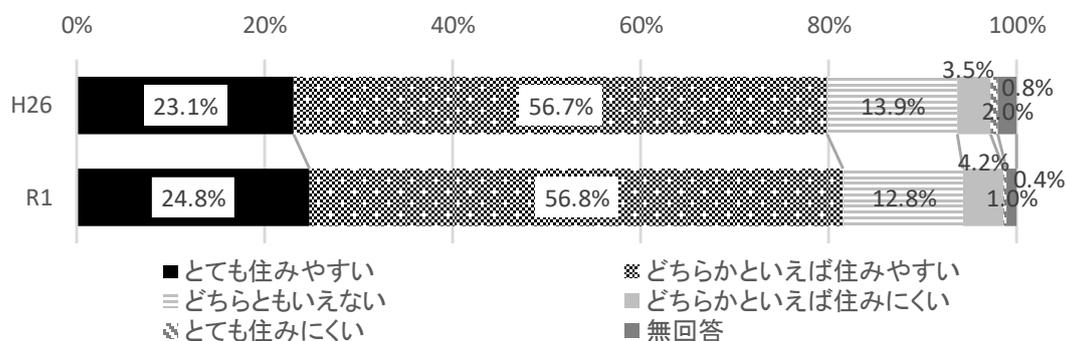
問 10 あなたは、毎日の生活のなかで、ひたちなか市の住み心地をどのように感じていますか。  
[1つに〇]

- ひたちなか市の住み心地について、「とても住みやすい」と回答した方は 24.8%となっており、前回調査 (H26) の 23.1%に比べ 1.7%増加している。一方で、「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」と回答した方の合計は 4.6%で前回調査 4.3%とあまり変化していない。

総数	1,448	100.0%
とても住みやすい	359	24.8%
どちらかといえば住みやすい	822	56.8%
どちらともいえない	185	12.8%
どちらかといえば住みにくい	61	4.2%
とても住みにくい	6	0.4%
無回答	15	1.0%



### 【前回調査 (H26) との比較】



【年齢別、居住地域別（学校区）の住み心地（クロス分析）について】

■年齢別の住み心地への回答割合（問2と問10のクロス分析）

%	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
総数	24.8%	56.8%	12.8%	4.2%	0.4%	1.0%
18～24歳	22.4%	58.6%	17.2%	1.7%	0.0%	0.0%
25～29歳	26.5%	53.1%	14.3%	6.1%	0.0%	0.0%
30～34歳	28.6%	50.8%	14.3%	6.3%	0.0%	0.0%
35～39歳	25.0%	61.4%	8.0%	5.7%	0.0%	0.0%
40～44歳	35.5%	50.4%	8.3%	4.1%	0.0%	1.7%
45～49歳	24.5%	61.5%	9.8%	2.8%	0.7%	0.7%
50～54歳	23.4%	65.0%	8.0%	3.6%	0.0%	0.0%
55～59歳	27.3%	57.3%	8.2%	7.3%	0.0%	0.0%
60～64歳	25.7%	53.1%	15.9%	4.4%	0.9%	0.0%
65～69歳	20.3%	61.7%	13.5%	3.8%	0.8%	0.0%
70～74歳	22.7%	58.3%	12.3%	4.9%	0.6%	1.2%
75歳以上	22.8%	52.5%	19.4%	3.0%	0.8%	1.5%

- ・年齢別のひたちなか市の住み心地では、「40～44歳」の年代で「とても住みやすい」と回答した方が最も多く、35.5%となっている。一方で、「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」と回答した方の割合が多いのは「55～59歳」が7.3%で最も多くなっている。

■学校区別の住み心地への回答割合（問9と問10のクロス分析）

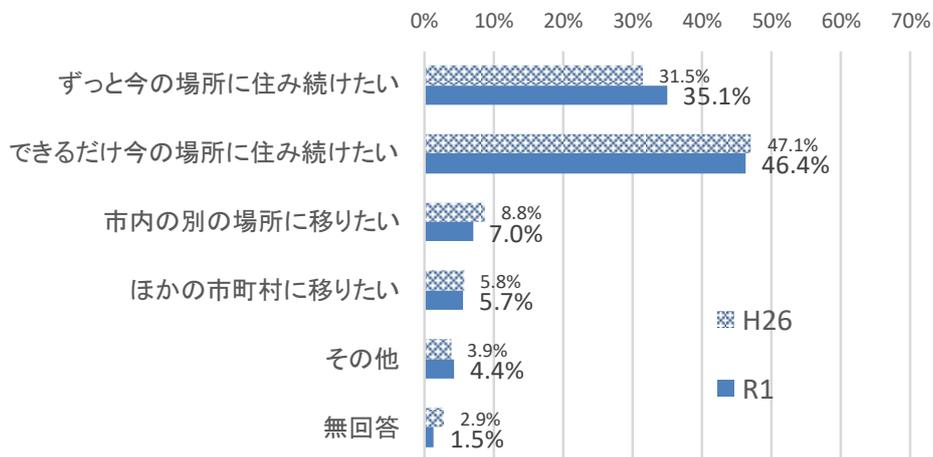
%	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
総数	24.8%	56.8%	12.8%	4.2%	0.4%	1.0%
勝田第一中学区	26.2%	60.3%	8.2%	4.9%	0.0%	0.4%
勝田第二中学区	25.1%	55.3%	13.7%	5.5%	0.5%	0.0%
勝田第三中学区	27.9%	55.1%	12.2%	2.7%	0.7%	1.4%
佐野中学区	25.1%	57.5%	13.5%	3.9%	0.0%	0.0%
大島中学区	30.1%	57.2%	11.4%	0.0%	0.6%	0.6%
田彦中学区	20.0%	64.0%	14.4%	1.6%	0.0%	0.0%
那珂湊中学区	18.9%	53.5%	20.1%	5.7%	0.0%	1.9%
平磯中学区	16.7%	53.7%	16.7%	11.1%	0.0%	1.9%
阿字ヶ浦中学区	30.0%	50.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%
分からない	28.2%	53.5%	5.6%	8.5%	2.8%	1.4%

- ・学校区別のひたちなか市の住み心地では、「とても住みやすい」との回答割合が最も多かったのは「大島中学区」で30.1%、「阿字ヶ浦中学区」が30.0%で次点となっている。

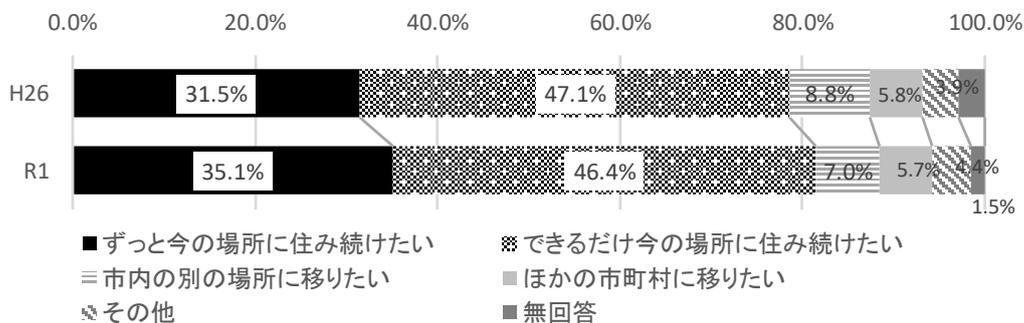
**問 11 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。[1つに〇]**

- ひたちなか市への定住意向について、「ずっと今の場所に住み続けたい」と回答した方は 35.1% となっており、前回調査（H26）の 31.5% に比べ 3.6% 増加している。
- 「その他」の意見としては、「老後は他県へ移りたい」や「夫の退職後は夫婦の地元(北海道)へ帰りたい」など老後は転居を希望する意向や、「現職の間は住み続ける」など仕事と関連した意向を示す回答がある。

総数	1,448	100.0%
ずっと今の場所に住み続けたい	508	35.1%
できるだけ今の場所に住み続けたい	672	46.4%
市内の別の場所に移りたい	102	7.0%
ほかの市町村に移りたい	82	5.7%
その他	63	4.4%
無回答	21	1.5%



**【前回調査（H26）との比較】**



【年齢別、居住地域別（学校区）の定住意向（クロス分析）について】

■年齢別の定住意向への回答割合（問2と問11のクロス分析）

%	ずっと今の場所に住み続けたい	できるだけ今の場所に住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
総数	35.1%	46.4%	7.0%	5.7%	4.4%	1.5%
18～24歳	12.1%	65.5%	3.4%	15.5%	3.4%	0.0%
25～29歳	14.3%	55.1%	10.2%	16.3%	4.1%	0.0%
30～34歳	25.4%	41.3%	11.1%	9.5%	12.7%	0.0%
35～39歳	20.5%	54.5%	12.5%	4.5%	8.0%	0.0%
40～44歳	27.3%	52.1%	6.6%	7.4%	6.6%	0.0%
45～49歳	29.4%	49.7%	6.3%	9.1%	4.9%	0.7%
50～54歳	31.4%	51.1%	7.3%	5.8%	3.6%	0.7%
55～59歳	34.5%	44.5%	10.0%	5.5%	4.5%	0.9%
60～64歳	38.1%	46.0%	7.1%	5.3%	2.7%	0.9%
65～69歳	43.6%	41.4%	6.0%	4.5%	3.8%	0.8%
70～74歳	46.0%	39.9%	4.9%	3.7%	4.3%	1.2%
75歳以上	48.7%	41.1%	5.7%	0.4%	1.5%	2.7%

- ・年齢別の定住意向では、40歳以降から徐々に定住以降の割合が増加していき、65歳以上で「ずっと今の場所に住み続けたい」との回答が多くなっている。「ずっと今の場所に住み続けたい」、「できるだけ今の場所に住み続けたい」の合計がもっとも低いのは「30～34歳」で66.7%となっている。一方で、「ほかの市町村に移りたい」との回答は「18～24歳」、「25～29歳」の若い世代で多くなっている。

■学校区別の定住意向への回答割合（問9と問11のクロス分析）

%	ずっと今の場所に住み続けた	できるだけ今の場所に住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
総数	35.1%	46.4%	7.0%	5.7%	4.4%	1.5%
勝田第一中学区	39.7%	43.1%	8.2%	3.7%	4.1%	1.1%
勝田第二中学区	36.5%	46.6%	5.0%	5.9%	5.0%	0.9%
勝田第三中学区	44.2%	42.9%	7.5%	4.1%	1.4%	0.0%
佐野中学区	30.4%	50.2%	7.2%	7.2%	3.4%	1.4%
大島中学区	36.1%	48.2%	5.4%	4.2%	6.0%	0.0%
田彦中学区	26.4%	51.2%	7.2%	11.2%	2.4%	1.6%
那珂湊中学区	33.3%	50.3%	8.2%	4.4%	1.9%	1.9%
平磯中学区	48.1%	31.5%	9.3%	1.9%	7.4%	1.9%
阿字ヶ浦中学区	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
分からない	18.3%	50.7%	4.2%	12.7%	14.1%	0.0%

- ・居住する学校区別の定住意向では、「ずっと今の場所に住み続けたい」との回答割合が最も多かったのは、「平磯中学区」で48.1%、「勝田第三中学区」が44.2%で続いている。

問 12 現在の、本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間（令和3年度から令和7年度まで）の取組に対する「充実希望度」について、各項目別に当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【満足度に対する点数及び回答結果】

「とても満足」の回答を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「とても不満」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

No	項目	点数	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
1	防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	3.19	2.8%	29.7%	53.7%	11.0%	2.8%
2	河川、雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	3.02	3.1%	24.4%	48.2%	20.1%	4.1%
3	消防・救急体制について	3.54	10.3%	40.5%	43.1%	5.1%	1.0%
4	防犯対策について	3.09	3.0%	23.5%	54.8%	16.6%	2.1%
5	交通安全対策について	3.03	2.7%	23.6%	51.3%	19.1%	3.4%
6	企業誘致と雇用の創出について	2.96	1.1%	17.0%	62.0%	16.8%	3.2%
7	産業の活性化について	2.97	1.2%	18.8%	57.7%	20.2%	2.0%
8	商業振興について	2.89	2.1%	16.6%	52.7%	25.3%	3.3%
9	農業振興について	3.09	2.3%	18.0%	67.9%	10.2%	1.6%
10	水産業振興について	3.11	2.7%	18.8%	67.2%	9.4%	2.0%
11	観光振興について	3.00	2.3%	26.4%	45.7%	20.8%	4.8%
12	地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	3.13	3.1%	24.8%	56.2%	13.7%	2.2%
13	高齢者支援について	3.02	1.9%	19.1%	60.7%	15.8%	2.6%
14	障害者支援について	3.01	1.4%	14.2%	70.2%	12.2%	2.0%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.19	4.0%	27.5%	54.1%	12.4%	2.1%
16	生活困窮者支援について	3.00	1.1%	10.1%	78.0%	8.9%	1.9%
17	子育て支援について	3.00	1.7%	16.7%	63.8%	15.6%	2.2%
18	教育環境について	3.09	1.2%	21.3%	63.6%	12.3%	1.5%
19	青少年の健全育成について	3.06	1.0%	15.7%	73.2%	9.1%	1.0%
20	生涯学習環境(図書館、コミュニティセンター等)について	3.14	2.7%	25.8%	56.2%	13.4%	1.9%
21	スポーツ振興について	3.19	2.1%	22.1%	69.1%	6.2%	0.4%
22	芸術・文化振興について	3.10	1.4%	17.4%	71.8%	8.6%	0.9%
23	良好な居住環境の整備について	3.02	2.0%	22.8%	53.5%	18.9%	2.8%
24	道路の整備について	2.85	2.7%	22.0%	40.2%	27.9%	7.2%
25	安全安心な水の安定供給について	3.40	7.7%	34.7%	49.0%	7.4%	1.2%
26	下水道の整備について	3.02	5.5%	23.9%	45.9%	17.0%	7.7%
27	公園・緑地の整備について	3.10	3.7%	24.9%	51.6%	17.1%	2.7%
28	環境保全対策について	3.09	2.1%	18.1%	67.9%	10.4%	1.4%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.37	6.8%	35.2%	47.7%	8.8%	1.5%
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	2.77	2.4%	16.7%	44.6%	27.8%	8.5%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.11	2.7%	18.1%	68.2%	9.5%	1.4%
32	市の魅力発信による交流の促進について	2.98	1.6%	12.8%	69.9%	13.1%	2.5%
33	男女共同参画の推進について	3.05	0.9%	9.8%	83.7%	4.8%	0.7%
34	市政情報の発信について	3.13	3.3%	18.7%	67.6%	9.1%	1.4%
35	市民意見の市政への反映について	2.93	1.5%	10.3%	70.8%	14.1%	3.3%
36	効率的な市役所の運営について	3.03	2.0%	17.2%	65.0%	12.9%	2.8%

### 【充実希望度に対する点数及び回答結果】

「特に優先して充実すべき」の回答を5点、「充実すべき」を4点、「現状程度でよい」を3点、「それほど力を入れなくてよい」を2点、「優先順位を下げるべき」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

No	項目	点数	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき
1	防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	3.81	15.4%	51.6%	31.6%	1.2%	0.2%
2	河川、雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	3.80	13.4%	54.2%	31.2%	1.1%	0.1%
3	消防・救急体制について	3.58	9.9%	39.7%	49.2%	1.1%	0.1%
4	防犯対策について	3.79	11.6%	56.5%	31.1%	0.8%	0.0%
5	交通安全対策について	3.78	14.2%	50.6%	34.2%	0.8%	0.2%
6	企業誘致と雇用の創出について	3.68	11.1%	47.5%	39.2%	2.2%	0.0%
7	産業の活性化について	3.68	8.9%	51.6%	38.0%	1.5%	0.0%
8	商業振興について	3.67	9.5%	50.0%	38.9%	1.5%	0.1%
9	農業振興について	3.47	6.3%	36.7%	55.0%	1.8%	0.2%
10	水産業振興について	3.45	5.1%	36.9%	56.3%	1.7%	0.0%
11	観光振興について	3.71	13.0%	47.1%	37.7%	2.0%	0.2%
12	地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	3.63	9.3%	46.2%	42.8%	1.4%	0.3%
13	高齢者支援について	3.74	13.8%	48.2%	36.4%	1.3%	0.3%
14	障害者支援について	3.67	9.9%	49.1%	39.5%	1.0%	0.5%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.69	12.7%	43.9%	42.6%	0.7%	0.1%
16	生活困窮者支援について	3.40	5.6%	35.4%	53.8%	3.9%	1.2%
17	子育て支援について	3.76	17.8%	43.0%	37.1%	1.7%	0.4%
18	教育環境について	3.65	9.9%	45.6%	43.8%	0.5%	0.2%
19	青少年の健全育成について	3.55	6.4%	43.3%	49.4%	0.7%	0.2%
20	生涯学習環境(図書館、コミュニティセンター等)について	3.49	6.4%	38.1%	53.8%	1.4%	0.2%
21	スポーツ振興について	3.33	3.1%	29.6%	64.3%	2.5%	0.5%
22	芸術・文化振興について	3.37	3.1%	32.6%	62.2%	1.9%	0.2%
23	良好な居住環境の整備について	3.67	8.6%	51.2%	39.3%	0.8%	0.1%
24	道路の整備について	3.77	14.4%	50.7%	32.9%	1.4%	0.6%
25	安全安心な水の安定供給について	3.57	9.7%	37.9%	51.6%	0.8%	0.0%
26	下水道の整備について	3.66	13.1%	41.3%	44.4%	1.1%	0.2%
27	公園・緑地の整備について	3.49	5.8%	40.5%	51.0%	2.3%	0.5%
28	環境保全対策について	3.48	5.9%	38.0%	54.8%	1.2%	0.2%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.51	7.1%	38.1%	53.7%	0.9%	0.2%
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	3.75	15.0%	46.8%	37.0%	1.1%	0.2%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.17	2.8%	22.1%	66.4%	7.0%	1.7%
32	市の魅力発信による交流の促進について	3.43	6.3%	36.1%	53.0%	3.7%	0.9%
33	男女共同参画の推進について	3.22	2.0%	23.5%	69.5%	4.0%	0.9%
34	市政情報の発信について	3.34	3.8%	29.1%	64.4%	2.3%	0.4%
35	市民意見の市政への反映について	3.51	6.8%	39.3%	52.4%	1.3%	0.2%
36	効率的な市役所の運営について	3.52	7.1%	39.2%	52.4%	1.1%	0.2%

- ・「とても満足」と回答する割合が多い上位3項目は「3 消防・救急体制について」、「25 安全安心な水の安定供給について」、「29 ごみ処理対策やリサイクルの推進について」となっている。
- ・「特に優先して充実すべき」と回答する割合が多い上位3項目は「17 子育て支援について」、「1 防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について」、「30 公共交通機関(バスや鉄道等)について」となっている。
- ・その他に取り組むべき事項として、「図書館の充実」、「空き家問題」、「観光資源のPRが不十分であり、もったいない」等の意見が挙がっていた。

【点数化による評価】

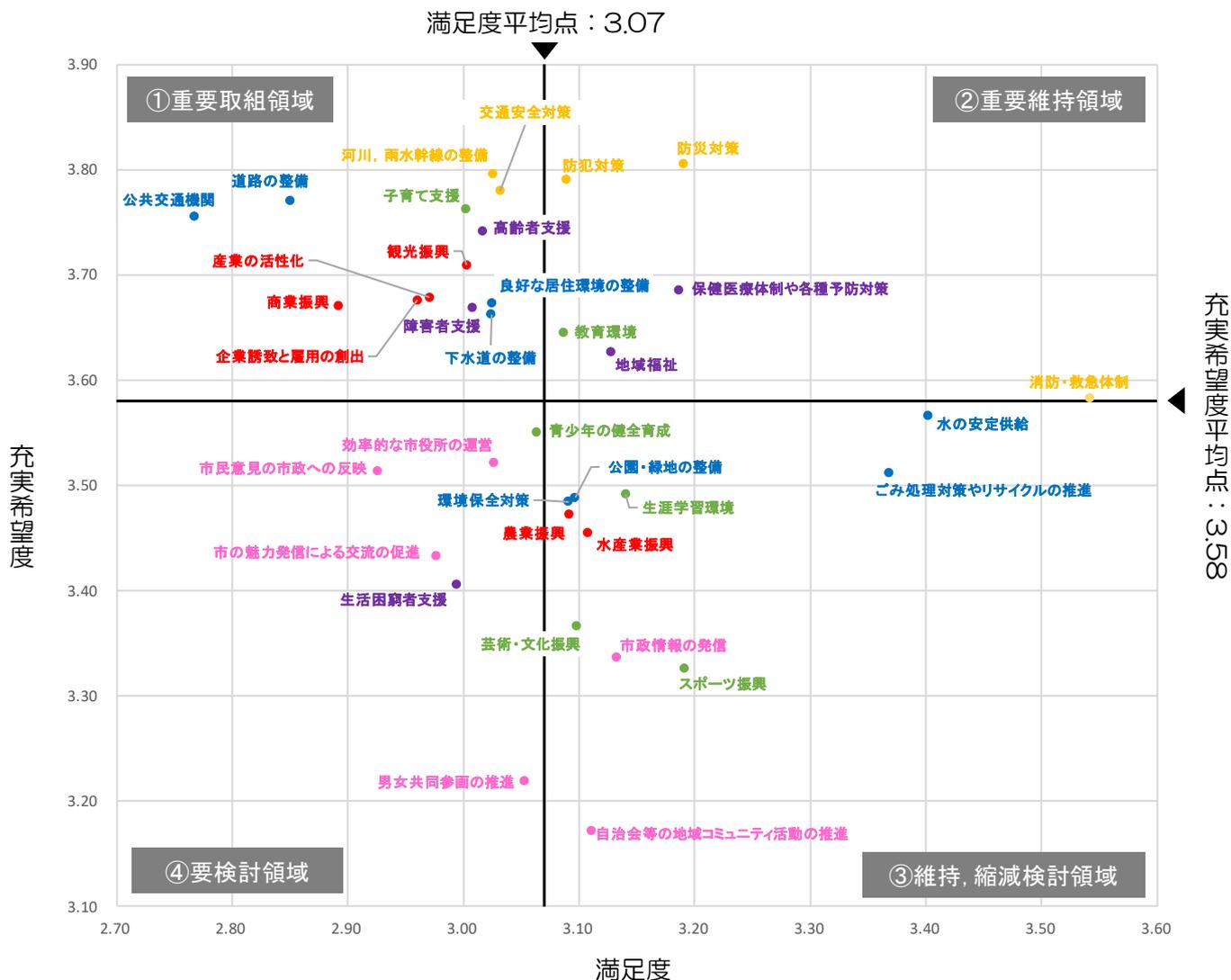
問 12 で調査した、本市のまちづくりに関する取組への市民の評価について、算出した点数を基に、横軸に「満足度」、縦軸に「充実希望度」を取りグラフ化した。

※項目の分類について

分類	領域について	説明
①重要取組領域	「満足度」が低く、「充実希望度」が高い	重点的に取り組みを進める必要がある項目。
②重要維持領域	「満足度」も「充実希望度」も高い	引き続き重点的に維持していく項目。
③維持・縮減領域	「満足度」が高く、「充実希望度」が低い	現状の維持或いは、取り組みの縮減を検討していく項目。
④要検討領域	「満足度」も「充実希望度」も低い	市民ニーズを再認識し、必要に応じて大きく改善する必要がある項目。

ひたちなか市第3次総合計画基本構想の章毎に項目を色分け

- 1. 災害に強く安全安心に暮らせるまちづくり
- 2. 多様な産業が発展しにぎわいあふれるまちづくり
- 3. ともに支えあい末永く健やかに暮らせるまちづくり
- 4. こどもたちがのびのびと成長し豊かな人間性が育まれるまちづくり
- 5. やすらぎと潤いにあふれ快適に暮らせるまちづくり
- 6. 市民とともに歩む人と人がつながるまちづくり

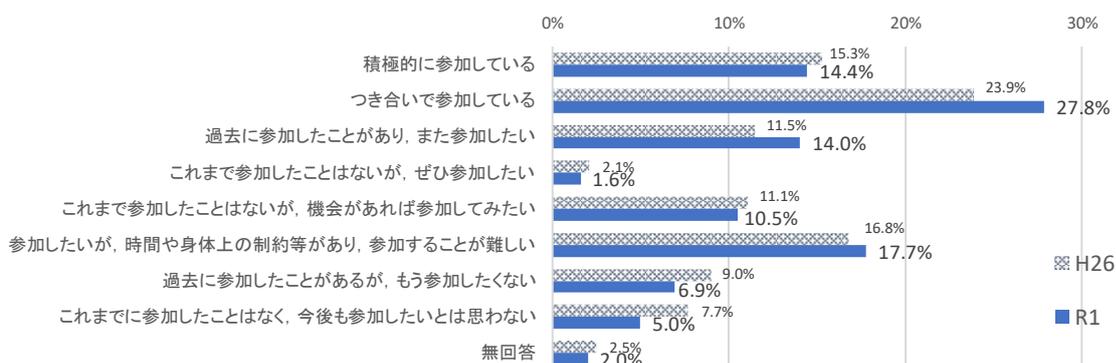


### (3) 地域活動・住民参加について

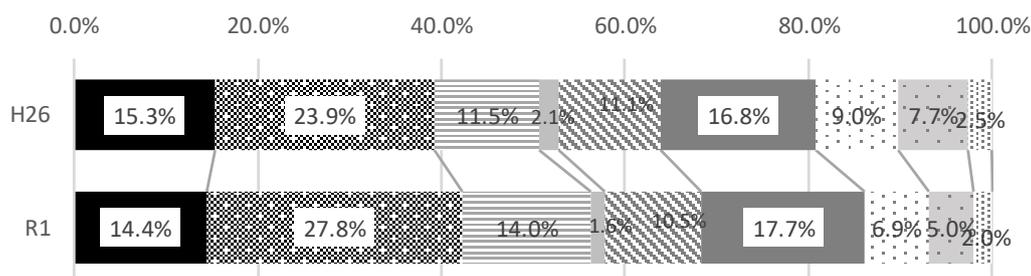
問 13 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）にどの程度参加していますか。〔1つに〇〕

- ・社会活動への参加について、「積極的に参加している」は14.4%で前回調査（H26）に比べ減少しているが、「つき合いで参加している」との回答は27.8%で増加しており、全体として参加している人の割合は増えている。

総数	1,448	100.0%
積極的に参加している	209	14.4%
つき合いで参加している	403	27.8%
過去に参加したことがあり、また参加したい	203	14.0%
これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい	23	1.6%
これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	152	10.5%
参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい	257	17.7%
過去に参加したことがあるが、もう参加したくない	100	6.9%
これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	72	5.0%
無回答	29	2.0%



#### 【前回調査（H26）との比較】



- 積極的に参加している
- ※ つき合いで参加している
- ≡ 過去に参加したことがあり、また参加したい
- これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい
- これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
- 参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい
- ・ 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない
- これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない

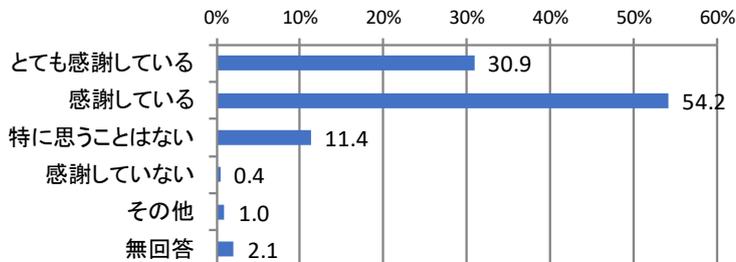




**問 14 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）に取り組んでいる人たちについてどう思いますか。〔1つに〇〕**

- ・「感謝している」が54.2%で最も多くなっており、「とても感謝している」が30.9%となっている。
- ・『その他』の回答では、「子供の少ない地区は大変」等の意見がみられる。

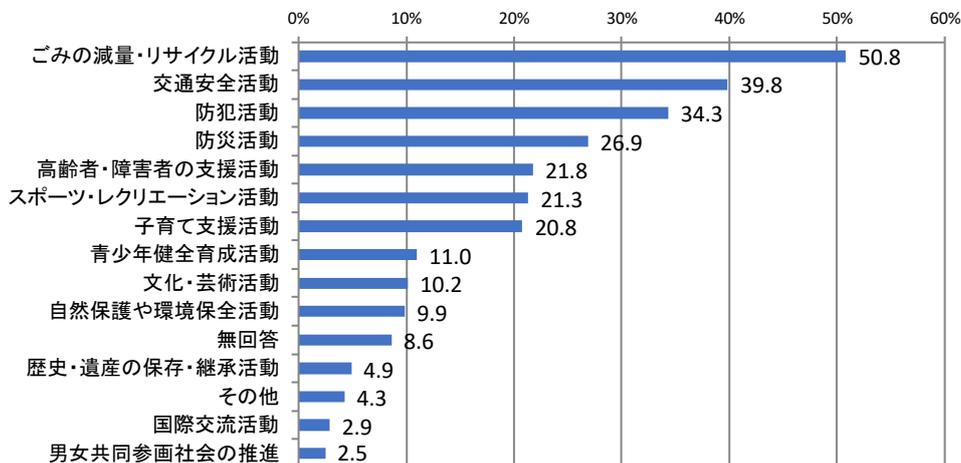
総数	1,448	100.0%
とても感謝している	448	30.9%
感謝している	785	54.2%
特に思うことはない	165	11.4%
感謝していない	6	0.4%
その他	14	1.0%
無回答	30	2.1%



**問 15 ひたちなか市では、平成22年4月に「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民、議会、行政がお互いに連携協力するまちづくりを進めています。地域づくりにおいて、地域の市民が主体となって活動が行われていると感じるのはどのような分野だと思えますか。該当するものすべてに〇をつけてください。**

- ・全体の50.8%が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており、「交通安全活動」が39.8%、「防犯活動」が34.3%で続いている。
- ・『その他』の回答では、「活動が行われていると感じない」等の意見が挙がっていた。

総数	1,448	100.0%
ごみの減量・リサイクル活動	736	50.8%
交通安全活動	577	39.8%
防犯活動	497	34.3%
防災活動	389	26.9%
高齢者・障害者の支援活動	315	21.8%
スポーツ・レクリエーション活動	309	21.3%
子育て支援活動	301	20.8%
青少年健全育成活動	159	11.0%
文化・芸術活動	147	10.2%
自然保護や環境保全活動	143	9.9%
歴史・遺産の保存・継承活動	71	4.9%
国際交流活動	42	2.9%
男女共同参画社会の推進	36	2.5%
その他	62	4.3%
無回答	125	8.6%

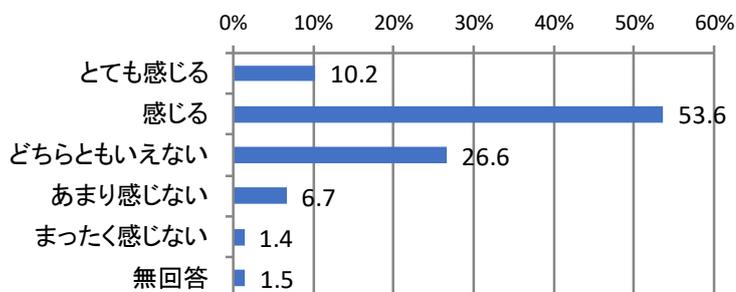


#### (4) ひたちなか市への誇りや愛着について

##### 問 16 あなたは、ひたちなか市に誇りや愛着を感じますか。[1つに〇]

- ・ひたちなか市への誇りや愛着について、「とても感じる」と回答した人は 10.2%となっている。
- ・年齢別集計結果では、「40～44 歳」で「とても感じる」の回答割合が最も多くなっている。居住する学校区別の集計では、「平磯中学区」で 18.5%と最も多い。

総数	1,448	100.0%
とても感じる	148	10.2%
感じる	776	53.6%
どちらともいえない	385	26.6%
あまり感じない	97	6.7%
まったく感じない	20	1.4%
無回答	22	1.5%



##### 【年齢別の市への誇りや愛着への回答結果】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	10.2%	53.6%	26.6%	6.7%	1.4%	1.5%
18～24歳	12.1%	55.2%	24.1%	6.9%	1.7%	0.0%
25～29歳	10.2%	49.0%	26.5%	12.2%	2.0%	0.0%
30～34歳	14.3%	44.4%	28.6%	9.5%	3.2%	0.0%
35～39歳	10.2%	47.7%	30.7%	8.0%	2.3%	1.1%
40～44歳	18.2%	49.6%	27.3%	3.3%	0.8%	0.8%
45～49歳	9.1%	55.9%	26.6%	7.7%	0.7%	0.0%
50～54歳	8.8%	58.4%	24.8%	5.8%	0.7%	1.5%
55～59歳	8.2%	60.0%	20.9%	8.2%	2.7%	0.0%
60～64歳	6.2%	57.5%	26.5%	8.0%	0.0%	1.8%
65～69歳	7.5%	49.6%	32.3%	7.5%	1.5%	1.5%
70～74歳	9.2%	51.5%	28.8%	7.4%	1.8%	1.2%
75歳以上	10.6%	56.3%	24.0%	4.2%	1.1%	3.8%

##### 【学校区別の市への誇りや愛着への回答結果】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	10.2%	53.6%	26.6%	6.7%	1.4%	1.5%
勝田第一中学区	8.2%	59.2%	23.6%	6.0%	1.1%	1.9%
勝田第二中学区	11.0%	52.1%	26.0%	7.8%	1.4%	1.8%
勝田第三中学区	10.9%	60.5%	23.1%	2.0%	0.7%	2.7%
佐野中学区	12.6%	51.7%	26.6%	8.2%	0.0%	1.0%
大島中学区	9.6%	55.4%	24.7%	6.6%	3.6%	0.0%
田彦中学区	9.6%	52.0%	32.0%	5.6%	0.0%	0.8%
那珂湊中学区	9.4%	49.1%	32.1%	6.9%	1.3%	1.3%
平磯中学区	18.5%	51.9%	18.5%	9.3%	1.9%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	15.0%	70.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%
分からない	2.8%	40.8%	36.6%	11.3%	5.6%	2.8%
無回答	15.4%	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	15.4%

【市への誇りや愛着の回答別の社会活動への参加（問 14）に対する回答割合】

%	積極的に参加している	つき合いで参加している	過去に参加したことがあり、また参加したい	これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい	これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい	過去に参加したことがあるが、もう参加したくない	これまでに参加したことはなく、今後とも参加したいとは思わない	無回答
総数	14.4%	27.8%	14.0%	1.6%	10.5%	17.7%	6.9%	5.0%	2.0%
とても感じる	25.0%	33.1%	8.1%	3.4%	8.8%	12.8%	6.1%	1.4%	1.4%
感じる	16.4%	28.9%	16.5%	1.4%	10.2%	17.8%	5.2%	3.0%	0.8%
どちらともえない	8.1%	28.3%	13.2%	0.8%	12.5%	20.0%	8.3%	6.8%	2.1%
あまり感じない	10.3%	19.6%	11.3%	1.0%	9.3%	15.5%	13.4%	17.5%	2.1%
まったく感じない	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%	10.0%	15.0%	25.0%	15.0%	10.0%
無回答	13.6%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%	22.7%	4.5%	4.5%	40.9%

- ・市への誇りや愛着を「とても感じる」と回答した方の25.0%が「積極的に参加している」と回答しており、市への誇りや愛着を感じるほど、社会活動へ積極的に参加している割合が高くなっている傾向がある。

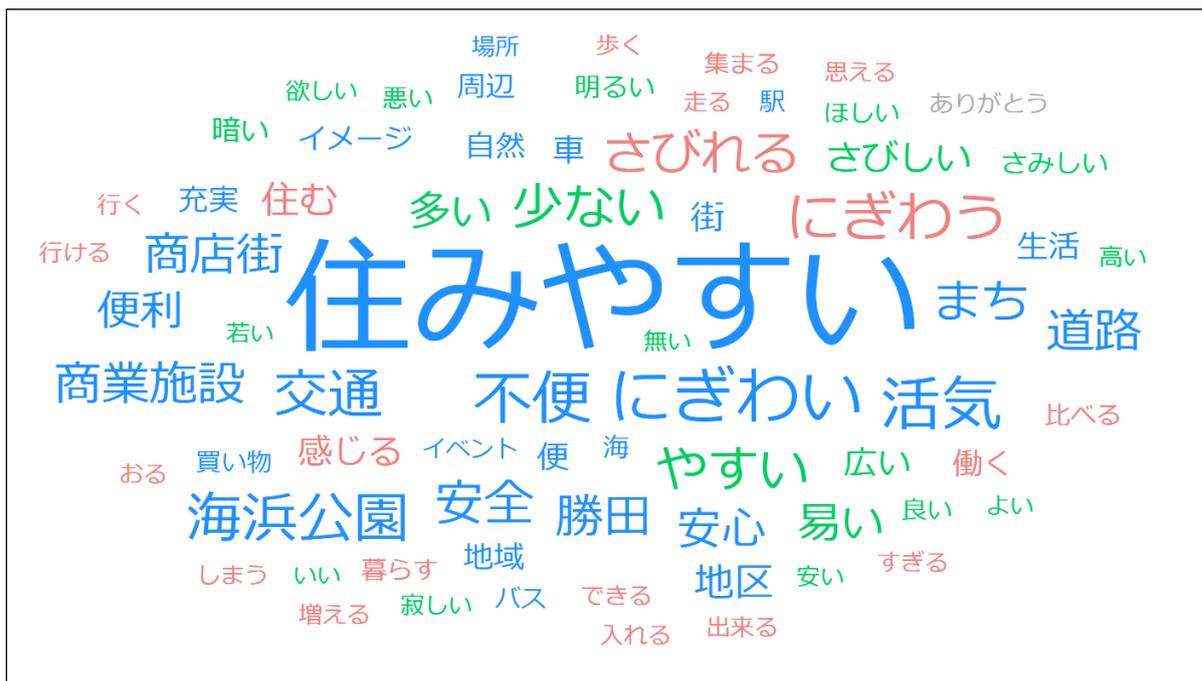
問 17 ひたちなか市に対する「まちのイメージ」について自由にご記入下さい。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> ) により分析

■ワードクラウド

- ・「住みやすい」、「不便」、「海浜公園」等の単語が特徴的に表れている。



■単語出現度

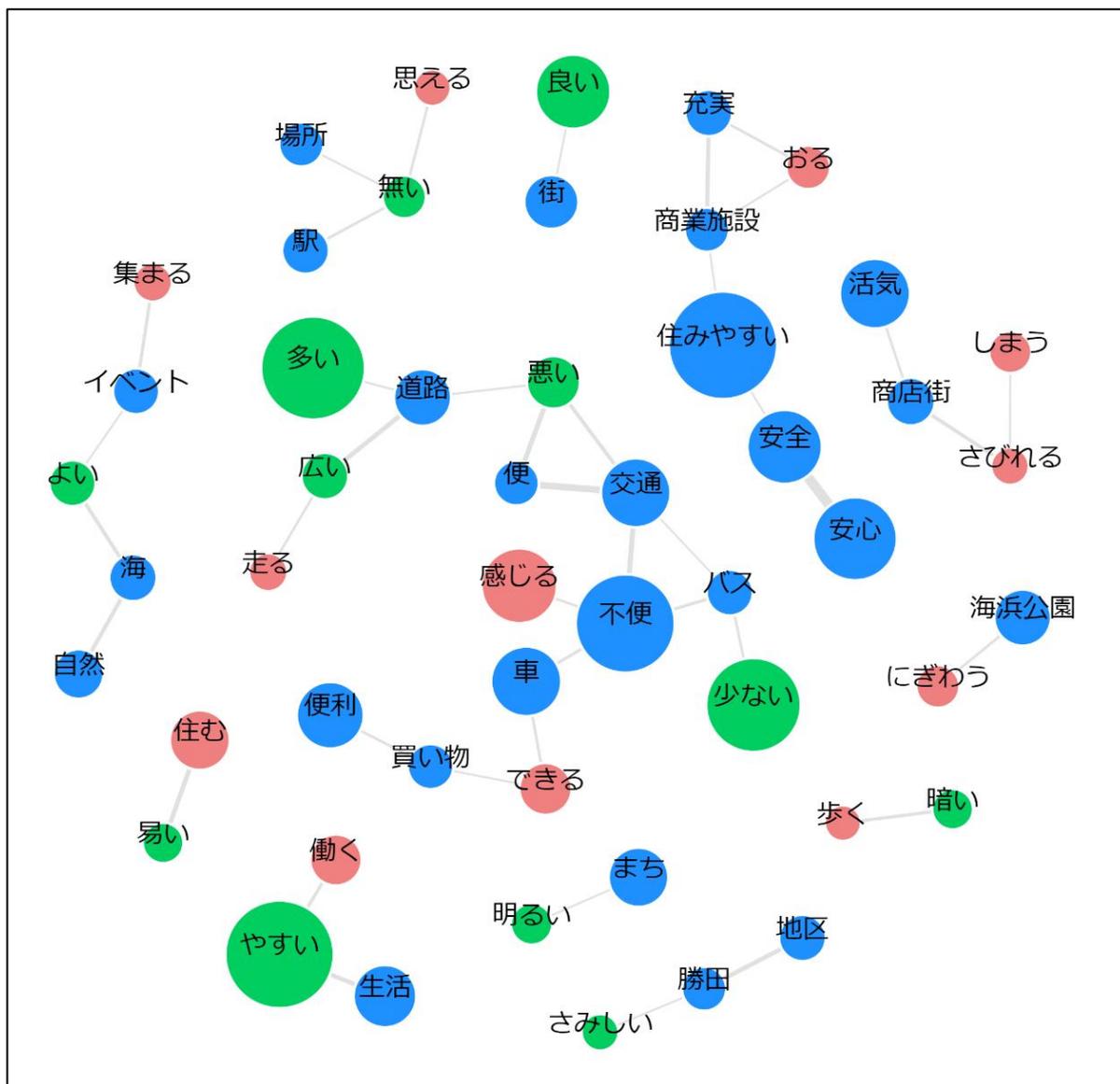
- ・「住みやすい」が最も多く出現している一方で、「不便」も次点で多く出現している。
- ・その他に、「安心」「安全」や「活気」、「車」、「交通」等の単語が多く出現している。

(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語 (※多い, 少ない, 感じる等))

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
住みやすい	名詞	126	車	形容詞	9
不便	名詞	111	交通	名詞	9
安心	名詞	86	便利	名詞	6
安全	名詞	71	生活	形容詞	6
活気	名詞	64	にぎわい	名詞	6

## ■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「住みやすい」は「商業施設」や「充実」、「安全」「安心」との関連が多い。
- また、「不便」は「交通」や「車」「バス」と、「活気」は「商店街」「さびれる」と関連して出現している傾向がある。



## ■自由記述の分析 結果まとめ

- “安心・安全な住みやすいまち”，“商業施設が充実した住みやすいまち”等のイメージが多く挙がっている傾向がある。一方で“バスが少ないなど交通の便が悪く不便なまち”等の意見も多い。
- その他のまちのイメージとして，“働きやすい，生活しやすい”や“商店街が寂れ，活気がないまち”，“海浜公園等でにぎわっている”等の意見もみられる。

問 18 ひたちなか市のまちの特性、特色について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

- ・「とてもそう思う」と回答した割合がもっとも多かったのは、「国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち」で 11.1%、「自然環境を守り、自然とふれあえるまち」が 6.4%で続いている。
- ・「まったく思わない」と回答した割合は、「鉄道やバスを利用しやすい、移動に便利なまち」が 14.3%で最多となっており、「様々な専門店や飲食店が集まる商業の盛んなまち」が 6.1%で次点となっている。
- ・『その他』の回答内容には、「犯罪の少ないまち」、「バスがなく不便」、「若い人が市外へ出てしまうまち」等の回答が挙がっている。

【回答結果】

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	無回答
快適な生活環境が整備されたまち	5.7%	45.4%	31.5%	11.9%	1.8%	3.7%
自然環境を守り、自然とふれあえるまち	6.4%	44.4%	34.7%	9.7%	1.2%	3.7%
医療や福祉が充実した、健康で安心して暮らせるまち	4.6%	33.3%	40.3%	15.5%	2.5%	3.9%
ものづくりなど企業活動が盛んで、活気にあふれるまち	4.2%	25.3%	46.2%	18.9%	1.9%	3.5%
様々な専門店や飲食店が集まる商業の盛んなまち	4.4%	22.4%	38.5%	24.9%	6.1%	3.7%
農業や漁業が盛んで、地域資源が活かされているまち	5.2%	38.4%	38.1%	12.8%	1.8%	3.7%
観光やレクリエーションが楽しめるまち	3.9%	28.7%	38.5%	20.8%	4.4%	3.9%
ITを活用した情報交流が盛んなまち	1.0%	7.3%	47.3%	32.1%	7.2%	5.1%
鉄道やバスを利用しやすい、移動に便利なまち	3.2%	16.6%	29.1%	32.7%	14.3%	4.1%
国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち	11.1%	42.7%	28.9%	12.3%	1.9%	3.0%
ボランティアやNPO活動が充実したまち	1.3%	10.6%	53.5%	26.3%	4.5%	3.8%
教育や学習の機会が豊富なまち	1.1%	13.8%	54.1%	23.2%	3.5%	4.3%
芸術・文化・スポーツ施設が充実し、イベントが活発なまち	1.9%	25.3%	46.3%	19.0%	3.2%	4.3%
子どもからお年寄りまで暮らしやすい、ひとにやさしいまち	4.0%	28.0%	45.5%	15.7%	3.4%	3.4%
災害に強い安全安心なまち	3.6%	21.0%	50.7%	18.3%	3.3%	3.1%
その他	1.7%	1.6%	5.4%	0.9%	0.4%	90.0%

問 19 あなたは、ひたちなか市について、友人、知人にどの程度おすすめできますか。次の項目について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【NPS（ネットプロモータースコア）による分析結果】

ひたちなか市についての各項目について、周囲の人にすすめる可能性を0点～10点の11段階で答えてもらい、市に対する愛着の度合いを点数化。マーケティングの視点で評価を実施した。

【算出方法】 NPS＝推奨者の割合（％）－批判者の割合（％）

項目	←アンケート用紙より一部抜粋										
	おすすめできる					▲	おすすめできない				
1. 全般的によいまちであること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
2. 買い物・遊びなどで訪れること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

推奨者    中立者                      批判者

※NPS 参考値(出展:NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社)  
 銀行:業界平均値 -46.2 トップ-25.2    自動車:業界平均値 -25.2 トップ-0.3  
 トラベル:業界平均値 -14.2 トップ-3.4    等

項目	NPS	市への愛着（問16の回答）別NPSの算出				
		とても感じる (n=148)	感じる (n=776)	どちらとも いえない (n=385)	あまり感じ ない(n=97)	まったく感 じない (n=20)
1. 全般的によいまちであること	-26.2	29.1	-13.3	-59.0	-76.3	-95.0
2. 買い物・遊びなどで訪れること	-40.7	-2.0	-33.1	-61.0	-77.3	-95.0
3. 住むこと	-18.7	39.9	-6.7	-50.9	-70.1	-85.0
4. 働くこと	-45.6	-8.1	-38.9	-65.5	-79.4	-80.0
5. 子育てすること	-47.3	-12.2	-38.0	-72.2	-74.2	-95.0
6. 仕事後の時間を楽しむこと	-65.7	-40.5	-61.9	-79.7	-85.6	-100.0
7. いろいろな人と交友を深めること	-68.9	-43.9	-65.6	-82.9	-87.6	-100.0
8. 趣味や教養を深めること	-67.5	-37.8	-63.9	-82.3	-88.7	-95.0
9. デートすること	-65.5	-37.2	-62.4	-78.7	-85.6	-95.0

■ひたちなか市 NPS について 結果まとめ

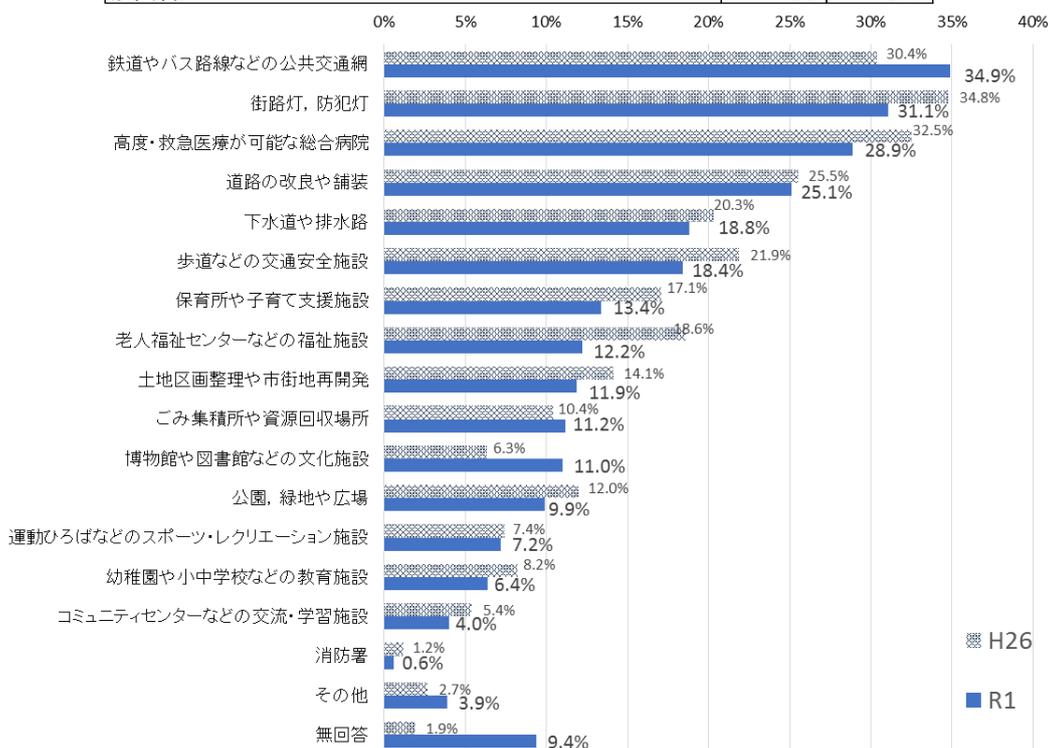
○ひたちなか市の各項目のNPSでは、「3 住むこと」が-18.7と最も高くなっている。  
 ○市への愛着別の回答結果から、市への愛着を感じている人ほどNPSスコアが高くなっている。  
 ○「その他」の意見としては、おすすめできる項目として「海浜公園」や「ロックフェス」等が挙げられていた。

## (5) 望まれる整備・施設について

問 20 暮らしやすいまちづくりを進めるうえで、これから整備が必要だと思われる社会基盤は何でしょうか。当てはまる番号に○をつけてください。[○は3つまで]

- これから整備が必要だと思われる社会基盤として、最も多くの方が選択した項目は「鉄道やバス路線などの公共交通網」で34.9%となっており、「街路灯, 防犯灯」が31.1%, 「高度・救急医療が可能な総合病院」が28.9%で続いている。
- 『その他』の意見では、「防犯カメラの設置」が多く挙がっており、「商業施設等の誘致」や「バリアフリーなまちづくり」等の意見が挙がっていた。
- 前回調査（H26）との比較では、「老人福祉センターなどの福祉施設」, 「街路灯, 防犯灯」への回答が減少しており, 「博物館や図書館などの文化施設」や「鉄道やバス路線などの公共交通網」への回答が増加している。

整備・施設	件数	割合
総数	1,448	100.0%
鉄道やバス路線などの公共交通網	506	34.9%
街路灯, 防犯灯	450	31.1%
高度・救急医療が可能な総合病院	419	28.9%
道路の改良や舗装	364	25.1%
下水道や排水路	272	18.8%
歩道などの交通安全施設	267	18.4%
保育所や子育て支援施設	194	13.4%
老人福祉センターなどの福祉施設	176	12.2%
土地区画整理や市街地再開発	172	11.9%
ごみ集積所や資源回収場所	162	11.2%
博物館や図書館などの文化施設	160	11.0%
公園, 緑地や広場	143	9.9%
運動ひろばなどのスポーツ・レクリエーション施設	104	7.2%
幼稚園や小中学校などの教育施設	92	6.4%
コミュニティセンターなどの交流・学習施設	58	4.0%
消防署	9	0.6%
その他	56	3.9%
無回答	136	9.4%



【年齢別，居住地域別（学校区）の必要な社会基盤（クロス分析）について】

■年齢別の必要な社会基盤への回答割合（問2と問20のクロス分析）

%	道路の改良や舗装	土地区画整理や市街地再開発	鉄道やバス路線などの公共交通網	公園、緑地や広場	下水道や排水路	ごみ集積所や資源回収場	街路灯、防犯灯	歩道などの交通安全施設	消防署	高度・救急医療が可能な総合病院	老人福祉センターなどの福祉施設	保育所や子育て支援施設	幼稚園や小中学校などの教育施設	博物館や図書館などの文化施設	コミュニティセンターなどの交流・学習施設	運動ひろばなどのスポーツ・レクリエーション施設	その他
総数	25.1%	11.9%	34.9%	9.9%	18.8%	11.2%	31.1%	18.4%	0.6%	28.9%	12.2%	13.4%	6.4%	11.0%	4.0%	7.2%	3.9%
18～24歳	43.1%	8.6%	44.8%	13.8%	1.7%	8.6%	48.3%	15.5%	1.7%	20.7%	5.2%	20.7%	6.9%	12.1%	5.2%	8.6%	3.4%
25～29歳	36.7%	8.2%	26.5%	10.2%	12.2%	18.4%	30.6%	22.4%	0.0%	12.2%	6.1%	42.9%	12.2%	10.2%	4.1%	12.2%	4.1%
30～34歳	27.0%	20.6%	46.0%	20.6%	9.5%	1.6%	36.5%	15.9%	0.0%	17.5%	1.6%	33.3%	12.7%	11.1%	1.6%	9.5%	3.2%
35～39歳	29.5%	9.1%	28.4%	20.5%	14.8%	8.0%	30.7%	17.0%	0.0%	23.9%	5.7%	19.3%	20.5%	13.6%	3.4%	17.0%	4.5%
40～44歳	20.7%	12.4%	38.0%	10.7%	20.7%	11.6%	30.6%	22.3%	1.7%	26.4%	8.3%	14.0%	13.2%	13.2%	4.1%	8.3%	1.7%
45～49歳	19.6%	9.8%	37.8%	5.6%	11.9%	11.2%	30.8%	21.0%	1.4%	30.8%	7.7%	9.1%	9.8%	15.4%	0.7%	7.7%	7.7%
50～54歳	24.1%	13.1%	43.1%	5.1%	23.4%	14.6%	36.5%	13.9%	0.0%	31.4%	8.8%	13.1%	4.4%	6.6%	3.6%	8.8%	3.6%
55～59歳	27.3%	5.5%	31.8%	10.0%	20.0%	13.6%	36.4%	27.3%	0.9%	32.7%	8.2%	8.2%	4.5%	13.6%	2.7%	5.5%	5.5%
60～64歳	20.4%	11.5%	31.0%	11.5%	27.4%	8.8%	28.3%	13.3%	1.8%	29.2%	11.5%	18.6%	1.8%	6.2%	4.4%	3.5%	4.4%
65～69歳	24.8%	12.8%	26.3%	6.8%	18.8%	14.3%	30.8%	21.1%	0.0%	36.1%	15.8%	10.5%	3.0%	15.0%	2.3%	6.8%	6.0%
70～74歳	29.4%	17.2%	33.1%	8.0%	25.2%	13.5%	24.5%	16.0%	0.6%	32.5%	18.4%	7.4%	3.1%	12.3%	6.7%	1.2%	1.2%
75歳以上	22.1%	11.8%	35.7%	9.1%	19.8%	9.1%	26.6%	17.5%	0.0%	29.3%	21.7%	6.8%	1.5%	7.6%	6.1%	6.8%	2.7%

- ・年齢別の回答結果では、「18～24歳」の世代では、「街路灯，防犯灯」が最も多く回答されている。「25～29歳」では「保育所や子育て支援施設」，「30～34歳」では「鉄道やバス路線などの公共交通網」が最も多くなっており，世代によって求める社会基盤へのニーズに差があることがわかる。

■学校区別の必要な社会基盤への回答割合（問9と問20のクロス分析）

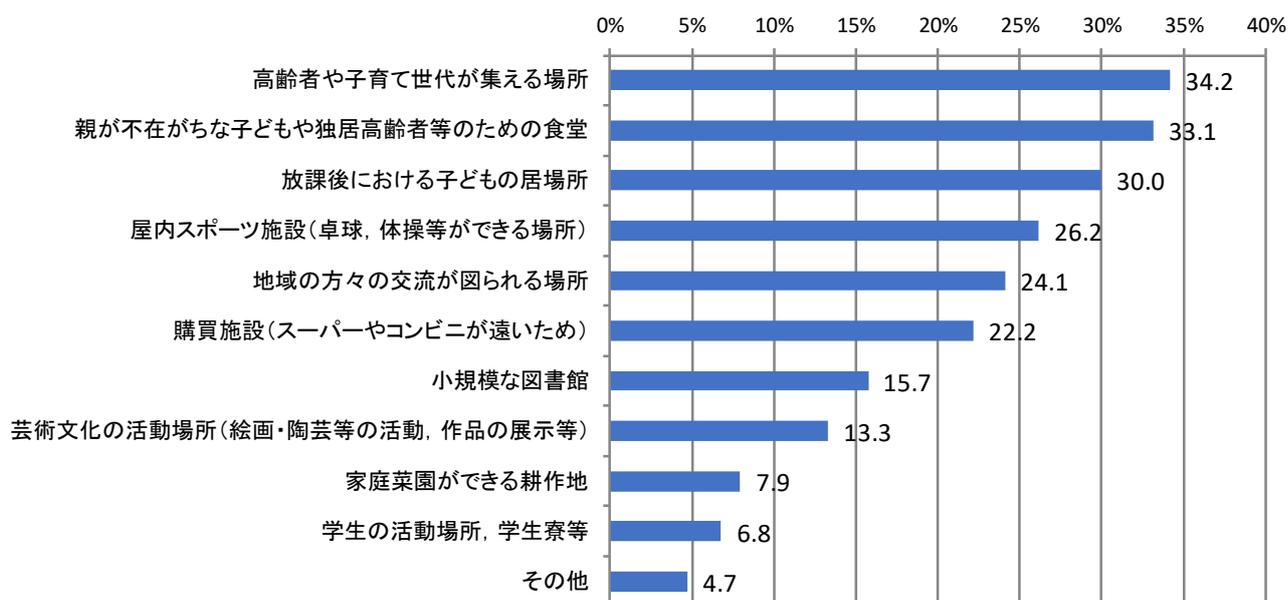
%	道路の改良や舗装	土地区画整理や市街地再開発	鉄道やバス路線などの公共交通網	公園、緑地や広場	下水道や排水路	ごみ集積所や資源回収場	街路灯、防犯灯	歩道などの交通安全施設	消防署	高度・救急医療が可能な総合病院	老人福祉センターなどの福祉施設	保育所や子育て支援施設	幼稚園や小中学校などの教育施設	博物館や図書館などの文化施設	コミュニティセンターなどの交流・学習施設	運動ひろばなどのスポーツ・レクリエーション施設
総数	25.1%	11.9%	34.9%	9.9%	18.8%	11.2%	31.1%	18.4%	0.6%	28.9%	12.2%	13.4%	6.4%	11.0%	4.0%	7.2%
勝田第一中学区	24.0%	9.4%	36.0%	13.9%	12.7%	10.1%	27.0%	18.4%	0.4%	27.3%	12.0%	13.9%	9.0%	17.2%	4.1%	7.5%
勝田第二中学区	26.9%	11.9%	30.1%	8.2%	25.6%	13.2%	31.5%	20.1%	0.5%	22.4%	14.6%	11.0%	5.5%	11.4%	4.6%	6.8%
勝田第三中学区	23.1%	14.3%	36.7%	8.8%	21.1%	10.9%	25.2%	13.6%	0.7%	29.3%	15.6%	15.6%	10.2%	8.2%	3.4%	5.4%
佐野中学区	26.6%	9.2%	39.6%	10.1%	22.2%	13.0%	36.2%	18.8%	1.0%	32.9%	8.7%	9.2%	4.8%	5.3%	2.9%	7.7%
大島中学区	27.7%	18.1%	28.3%	8.4%	18.7%	9.0%	29.5%	19.3%	1.2%	28.3%	13.3%	14.5%	6.0%	16.9%	1.8%	6.6%
田彦中学区	22.4%	8.0%	36.0%	12.0%	16.0%	12.0%	33.6%	29.6%	0.0%	27.2%	6.4%	17.6%	7.2%	8.0%	5.6%	5.6%
那珂湊中学区	25.2%	13.2%	40.3%	6.3%	15.7%	7.5%	29.6%	13.8%	1.3%	40.9%	16.4%	14.5%	4.4%	7.5%	5.0%	7.5%
平磯中学区	29.6%	13.0%	29.6%	14.8%	29.6%	11.1%	37.0%	16.7%	0.0%	25.9%	5.6%	13.0%	3.7%	3.7%	1.9%	7.4%
阿字ヶ浦中学区	20.0%	15.0%	35.0%	5.0%	20.0%	5.0%	45.0%	20.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%

- ・学校別の回答結果では、「勝田第一中学区」では「鉄道やバス路線などの公共交通網」が最も多く回答されており，「大島中学区」では「街路灯，防犯灯」が，「那珂湊中学区」では「高度・救急医療が可能な総合病院」がそれぞれ最も多く回答されている。

問 21 これから身近にあったら良いと思われる施設は何でしょうか。当てはまる番号に○をつけてください。[○は3つまで]

- 回答者の 34.2%が「高齢者や子育て世代が集える場所」を選択しており最も多くなっている。「親が不在がちな子どもや独居高齢者等のための食堂」が 33.1%、「放課後における子どもの居場所」が 30.0%で続いている。
- 『その他』の回答では、「子どもが屋内で遊べる広い場所」、「大規模な図書館」、「ワーキングスペース」等の意見が挙がっている。

施設	総数	割合
高齢者や子育て世代が集える場所	495	34.2%
親が不在がちな子どもや独居高齢者等のための食堂	480	33.1%
放課後における子どもの居場所	434	30.0%
屋内スポーツ施設(卓球, 体操等ができる場所)	379	26.2%
地域の方々の交流が図られる場所	349	24.1%
購買施設(スーパーやコンビニが遠いため)	321	22.2%
小規模な図書館	228	15.7%
芸術文化の活動場所(絵画・陶芸等の活動, 作品の展示等)	193	13.3%
家庭菜園ができる耕作地	115	7.9%
学生の活動場所, 学生寮等	98	6.8%
その他	68	4.7%

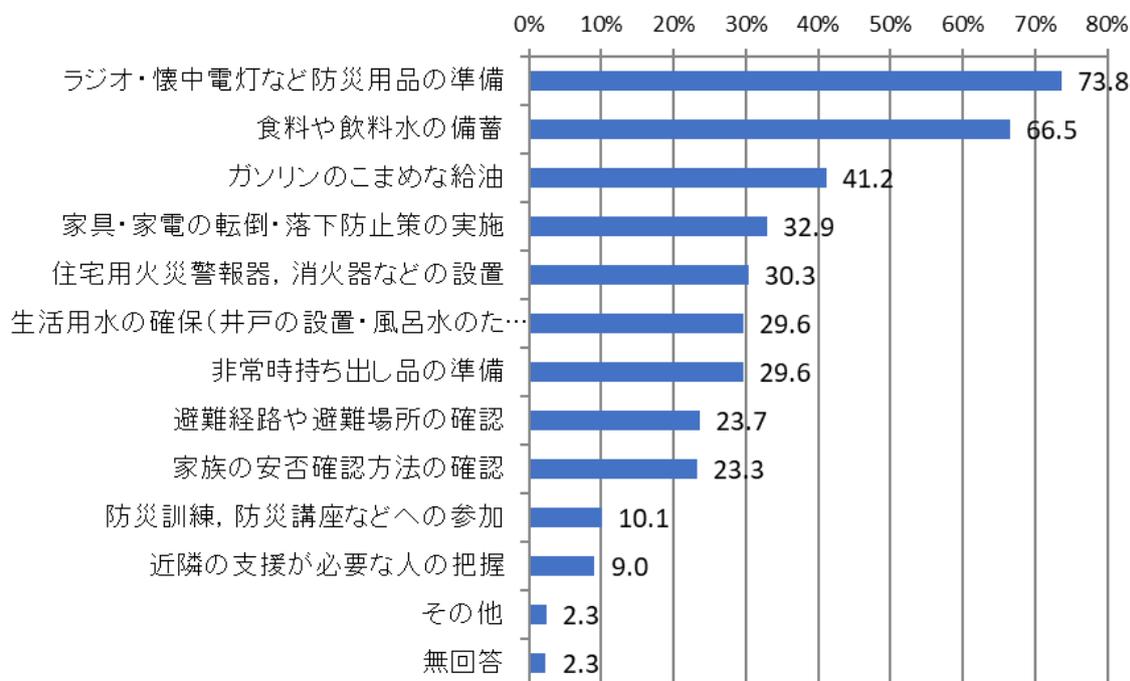


## (6) 災害への備えについて

問 22 あなたは、地震などの災害に対してどのような備えをしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ・「ラジオ・懐中電灯など防災用品の準備」が最も選択されており 73.8%、「食料や飲料水の備蓄」が 66.5%、「ガソリンのこまめな給油」が 41.2%で続いている。
- ・一方で「防災訓練、防災講座などへの参加」は 10.1%、「近隣の支援が必要な人の把握」は 9.0%となっており、地域での防災への備えに関する項目の回答割合は低くなっている。
- ・『その他』の回答では、「発電機の稼動チェック」、「Twitter 等での情報(防災関連)を常にチェック」と等がみられる。

総数	1,448	100.0%
ラジオ・懐中電灯など防災用品の準備	1,068	73.8%
食料や飲料水の備蓄	963	66.5%
ガソリンのこまめな給油	597	41.2%
家具・家電の転倒・落下防止策の実施	477	32.9%
住宅用火災警報器, 消火器などの設置	439	30.3%
生活用水の確保(井戸の設置・風呂水のため置きなど)	429	29.6%
非常時持ち出し品の準備	429	29.6%
避難経路や避難場所の確認	343	23.7%
家族の安否確認方法の確認	338	23.3%
防災訓練, 防災講座などへの参加	146	10.1%
近隣の支援が必要な人の把握	131	9.0%
その他	34	2.3%
無回答	33	2.3%

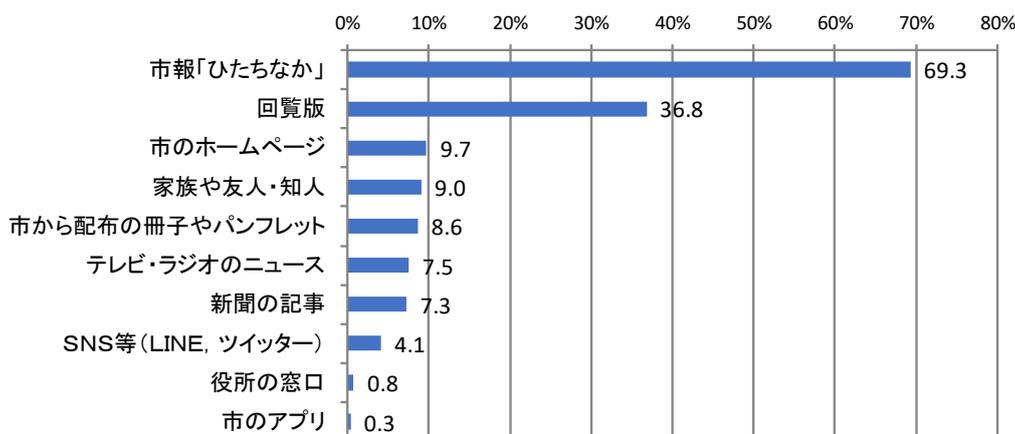


## (7) 市政運営について

問 23 あなたは日頃、市政に関する情報を主に何から得ていますか。当てはまる番号に○をつけてください。[○は2つまで]

- 全体の69.3%が「市報「ひたちなか」と回答しており最も多くなっている。
- 年代別の回答結果では、18歳～34歳の若い世代では、「SNS等(LINE, ツイッター)」や「家族や友人・知人」の回答割合が高くなっている。また、35～49歳では「市のホームページ」の回答割合が高い。
- 『その他』の回答では、「議会の傍聴等」, 「市政懇談会」等の意見が挙がっていた。

情報源	件数	割合
総数	1,448	100.0%
市報「ひたちなか」	1,003	69.3%
回覧版	533	36.8%
市のホームページ	141	9.7%
家族や友人・知人	131	9.0%
市から配布の冊子やパンフレット	125	8.6%
テレビ・ラジオのニュース	109	7.5%
新聞の記事	105	7.3%
SNS等(LINE, ツイッター)	59	4.1%
役所の窓口	11	0.8%
市のアプリ	5	0.3%
その他	20	1.4%



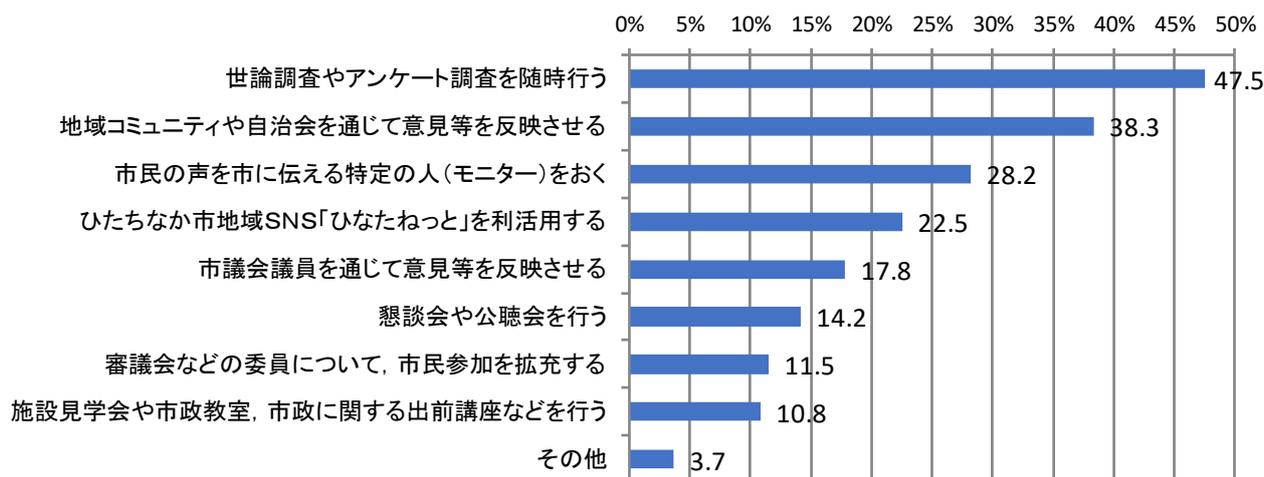
### 【年齢別の回答結果】

%	市報「ひたちなか」	新聞の記事	市のホームページ	市のアプリ	SNS等(LINE, ツイッター)	テレビ・ラジオのニュース	市から配布の冊子やパンフレット	役所の窓口	回覧版	家族や友人・知人	その他
総数	69.3%	7.3%	9.7%	0.3%	4.1%	7.5%	8.6%	0.8%	36.8%	9.0%	1.4%
18～24歳	39.7%	8.6%	5.2%	0.0%	24.1%	10.3%	5.2%	0.0%	19.0%	29.3%	3.4%
25～29歳	46.9%	6.1%	10.2%	0.0%	24.5%	16.3%	4.1%	2.0%	22.4%	16.3%	2.0%
30～34歳	47.6%	4.8%	20.6%	1.6%	11.1%	4.8%	9.5%	6.3%	20.6%	25.4%	4.8%
35～39歳	56.8%	8.0%	20.5%	1.1%	3.4%	5.7%	5.7%	0.0%	26.1%	18.2%	3.4%
40～44歳	69.4%	7.4%	18.2%	0.0%	5.8%	5.0%	4.1%	0.0%	28.1%	6.6%	1.7%
45～49歳	69.9%	6.3%	18.2%	0.7%	3.5%	9.8%	9.8%	0.0%	34.3%	6.3%	0.7%
50～54歳	73.0%	9.5%	11.7%	0.7%	2.2%	5.8%	4.4%	0.0%	37.2%	6.6%	2.2%
55～59歳	75.5%	1.8%	11.8%	0.0%	1.8%	5.5%	4.5%	0.9%	45.5%	9.1%	0.9%
60～64歳	69.9%	8.8%	9.7%	0.0%	2.7%	5.3%	7.1%	0.9%	46.9%	4.4%	1.8%
65～69歳	82.0%	6.0%	3.8%	0.8%	0.8%	4.5%	12.8%	0.0%	44.4%	6.8%	0.8%
70～74歳	80.4%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	12.3%	0.6%	47.9%	3.1%	0.0%
75歳以上	70.7%	5.3%	3.4%	0.0%	0.4%	10.6%	12.5%	1.1%	36.9%	7.2%	0.4%

問 24 あなたは、市民の意見や要望などを市政に反映させるためには、どのような方法がよいと考えますか。当てはまる番号に○をつけてください。[○は3つまで]

- ・「世論調査やアンケート調査を随時行う」が最も多く選択されており、全体の 47.5%が回答している。「地域コミュニティや自治会を通じて意見等を反映させる」が 38.3%で次点となっている。
- ・『その他』の回答では、「SNS の更なる活用」、「HP などインターネットでの意見フォームに投稿」等が挙がっている。

総数	1,448	100.0%
世論調査やアンケート調査を随時行う	688	47.5%
地域コミュニティや自治会を通じて意見等を反映させる	555	38.3%
市民の声を市に伝える特定の人(モニター)をおく	408	28.2%
ひたちなか市地域SNS「ひなたねっと」を利活用する	326	22.5%
市議会議員を通じて意見等を反映させる	258	17.8%
懇談会や公聴会を行う	205	14.2%
審議会などの委員について、市民参加を拡充する	167	11.5%
施設見学会や市政教室、市政に関する出前講座などを行う	157	10.8%
その他	53	3.7%
無回答	77	5.3%



【年齢別の回答結果】

%	世論調査やアンケート調査を随時行う	市民の声を市に伝える特定の人(モニター)をおく	ひたちなか市地域SNS「ひなたねっと」を利活用する	懇談会や公聴会を行う	審議会などの委員について、市民参加を拡充する	施設見学会や市政教室、市政に関する出前講座などを行う	市議会議員を通じて意見等を反映させる	地域コミュニティや自治会を通じて意見等を反映させる	その他
総数	47.5%	28.2%	22.5%	14.2%	11.5%	10.8%	17.8%	38.3%	3.7%
18～24歳	53.4%	20.7%	31.0%	10.3%	12.1%	8.6%	19.0%	19.0%	3.4%
25～29歳	57.1%	38.8%	36.7%	4.1%	6.1%	8.2%	12.2%	22.4%	8.2%
30～34歳	65.1%	28.6%	44.4%	7.9%	7.9%	12.7%	9.5%	22.2%	4.8%
35～39歳	54.5%	31.8%	39.8%	10.2%	10.2%	12.5%	17.0%	25.0%	4.5%
40～44歳	52.1%	14.0%	28.1%	9.1%	15.7%	8.3%	14.9%	35.5%	5.0%
45～49歳	47.6%	24.5%	35.7%	16.8%	12.6%	5.6%	14.7%	30.1%	4.2%
50～54歳	51.1%	27.7%	32.8%	13.9%	6.6%	9.5%	18.2%	32.1%	2.9%
55～59歳	48.2%	34.5%	21.8%	9.1%	10.9%	8.2%	15.5%	40.9%	6.4%
60～64歳	44.2%	32.7%	18.6%	14.2%	12.4%	6.2%	20.4%	41.6%	1.8%
65～69歳	47.4%	27.8%	15.0%	15.0%	13.5%	11.3%	14.3%	43.6%	1.5%
70～74歳	42.9%	36.8%	7.4%	17.2%	11.7%	15.3%	22.7%	49.1%	4.3%
75歳以上	38.0%	26.2%	7.2%	19.8%	12.5%	15.6%	22.4%	50.6%	2.3%

問 25 日本全体で人口が減少に転じ、地方自治体を取り巻く環境が厳しさを増す中、今後、行政サービスの水準を維持することは難しくなると予測されます。行財政改革を進めて行く上で行政サービスと市民の負担とのバランスについて、どのようにお考えですか。該当する数字1つに○をつけてください。

- 行政サービスと市民の負担とのバランスについて、「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」が41.5%で最も多くなっている。
- 『その他』の意見では「本当に必要なサービスを考えた上での負担なら良い」、「効率化やムダの削減等を優先すべき」との意見が挙がっていた。

総数	1,448	100.0%
負担は増えてもサービス水準は上げるべき	106	7.3%
負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき	601	41.5%
負担は変えないこととし、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	213	14.7%
負担を減らし、サービス水準を下げるべき	60	4.1%
どちらともいえない	326	22.5%
その他	71	4.9%
無回答	71	4.9%

